

これまでの変異株の流行下の疫学調査・介入

【前提条件】

- 想定：① 1人の陽性者が2人に同時に感染させる
 ② 発症1日前に他の人に感染させる
 ③ 発症後、2日後に検査し、翌日陽性判明する

- ・潜伏期間（感染～発症）：5日
- ・世代時間（発症～発症）：4日

- 当初、陽性者が判明し、2次感染者を検査し、陽性が判明。
- 積極的疫学調査①で2人の共通の感染源を見つけ出し、その集団を検査。
- 検査で更なる陽性者が判明。その時点では、既にクラスターになっている。
- 積極的疫学調査②を当初陽性判明時に検査しても既に感染が成立しているため、クラスターになっている。
- **しかし、4次感染以降は感染拡大しない。**

事例1. （2名陽性判明後接触者調査） 通常のパターン 積極的疫学調査・介入

